

平成 30 年 7 月豪雨災害に関する

緊 急 提 案

【国 要望書】

平成 30 年 8 月

広島県内陸部振興対策協議会

平成30年7月豪雨に関する緊急提案

平成30年7月5日から8日にかけて、各地で観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、広範囲にわたり河川の氾濫や土砂災害等が発生し、なかでも広島県内、岡山県内を中心に甚大な被害が発生したところです。

被災地では、被災住民の生活支援などに全力を挙げて取り組みを進めているところですが、今回の事態に対応するためには、政府による緊急かつ重点的な支援が不可欠となっております。

広島県内の死者・行方不明者は230人（平成30年8月7日現在）と多くの尊い人命が失われ、当協議会会員市町におきましても5人の死者・行方不明者が出ているほか、数多くの住宅が浸水し、土砂崩れ等による家屋損壊も多数生じています。

また、山林をはじめ、河川、道路、鉄道、農林水産業施設等に甚大な被害が発生し、農林水産業や商工業、観光など産業面にも深刻な影響を及ぼしています。

ついては、被災地における住民生活や経済活動が速やかに回復するよう、災害の早期復旧等に特段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年8月

広島県内陸部振興対策協議会
会長 小林 秀 矩

広島県内陸部振興対策協議会会員名簿



顧問
県議会議員 (三原市・世羅郡)
平田 修己



顧問
県議会議員 (安芸高田市)
児玉 浩



会長
県議会議員 (庄原市)
小林 秀矩



副会長
庄原市長
木山 耕三



副会長
世羅町長
奥田 正和



幹事長
県議会議員 (三次市)
下森 宏昭



副幹事長
県議会議員 (山県郡)
宮本 新八



理事
県議会議員 (府中市・神石郡)
岡崎 哲夫



理事
県議会議員 (三原市・世羅郡)
桑木 良典



理事
県議会議員 (三原市・世羅郡)
上田 泰弘



理事
府中市議会議員長
加藤 吉秀



理事
三次市長
増田 和俊

広島県内陸部振興対策協議会会員名簿



理事
三次市議会議員
小田 伸次



理事
庄原市議会議員
堀井 秀昭



理事
安芸高田市市長
浜田 一義



理事
安芸高田市議会議員
先川 和幸



理事
安芸太田町議会議員
矢立 孝彦



理事
北広島町長
箕野 博司



理事
北広島町議会議員
伊藤 久幸



理事
世羅町議会議員
徳光 義昭



理事
神石高原町長
入江 嘉則



理事
神石高原町議会議員
松本 彰夫



監事
府中市市長
小野 申人



監事
安芸太田町長
小坂 眞治

目 次

(総務省・財務省・国土交通省)		
1	災害復旧事業にかかる制度運用及び財政支援について	1
(環境省・財務省)		
2	廃棄物処理に係る財政支援について	2
(農林水産省)		
3	中小企業への財政支援について	3
(農林水産省)		
4	農業水路等長寿命化・防災減災事業について	4
(農林水産省)		
5	農林業者への財政支援について	5
(国土交通省・財務省)		
6	J R芸備線・J R福塩線の早期復旧について	6

1 災害復旧事業にかかる制度運用及び財政支援について

提案の主旨

- 災害復旧事業にかかる制度運用について
- 地方交付税等による財政支援について

(総務省・財務省・国土交通省)

現状及び課題

【現状】

- 平成30年7月豪雨によって住家を奪われ、避難生活を余儀なくされている人が多数います。また、道路、河川などの土木施設をはじめとして、学校、文化施設など多種の公共施設に被害をもたらすとともに、農林業施設、商工業施設などの民間施設等にも甚大な被害が及んでいます。

【課題】

- 被災者が日常生活を取り戻すには、多種多様な支援を必要とします。さらに被災施設の災害復旧経費とともに廃棄物処理費用などの災害関連経費についても、多額の経費が見込まれています。
また、災害復旧は早期の対応が必要であります。被災箇所が広域多数に上り、財源、事務処理、施工事業者などの要因から、3か年度を超える期間にわたるものと想定しています。

提案の内容

災害復旧等に必要な予算の確保や制度の条件緩和・弾力的な運用をしていただくとともに、特別交付税の特例的な増額配分について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

早期に住民生活の安心安全の確保を図るためにも、災害査定の迅速かつ円滑な実施と早期復旧にかかる積極的な財政支援について、特に緊急性を要する土砂等の撤去や、現場での数量等の特定が困難な場合においても、その緊急性に鑑み、国庫補助の弾力的な運用、災害復旧事業債の対象としていただけるようお願い申し上げます。

災害復旧にあたっては、被災箇所が多数に上り、その復旧は複数年度にわたる見込みであることから、復旧期間中を通じて同様の財政支援について、お願い申し上げます。

2 廃棄物処理に係る財政支援について

提案の主旨

- 廃棄物処理に係る財政支援について

(環境省・財務省)

現状及び課題

【現状】

- 平成 30 年 7 月豪雨により発生した大量の災害廃棄物の処理及び被災し運転不可能となった、し尿処理施設の復旧が急務となっています。

【課題】

- 災害廃棄物の処理及び被災施設の復旧には膨大な費用と時間を要し、被災市町においては、大きな財政負担となっています。

提案の内容

災害等廃棄物処理事業に係る予算の確保と早期採択に加え、災害廃棄物の処理及び災害により運転不能となった、し尿処理施設の復旧事業等、災害を起因とする一連の経費を補助対象として認めていただくようお願い申し上げます。
あわせて、特別交付税の増額配分及び交付税措置が有利な起債を充当できるなど特段の配慮と積極的な財政支援につきましても、お願い申し上げます。

3 中小企業への財政支援について

提案の主旨

- 中小企業への財政支援について

(経済産業省・財務省)

現状及び課題

【現状】

- 平成 30 年 7 月豪雨により、商業施設や工場等の事務所が浸水や土砂流入するなど、地域経済を支える中小企業、小規模事業所に甚大な被害が発生しています。

【課題】

- 施設設備、機器等に被害が生じ、生産活動が低下しています。特に個人商店等は被害設備の更新も厳しく、修理で対応している状況であり、生産意欲の減退につながっています。

提案の内容

早期の施設復旧・事業再開に向け、生産施設・設備の復旧等の支援や税制上の負担軽減措置、金融機関からの融資に対する利子補給制度の創設等の財政支援をお願い申し上げます。

また、中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業や小規模事業者経営改善資金融資事業といった国庫補助事業について、被災中小企業等のニーズに応じて柔軟に対応していただきますようお願い申し上げます。

4 農業水路等長寿命化・防災減災事業について

提案の主旨

- 農業水路等長寿命化・防災減災事業について (農林水産省)

現状及び課題

【現状】

- 農業用水の確保等のために造成されたため池は、老朽化等により健全度の低いものが多数存在しています。ため池は豪雨や地震等により決壊すると、下流の農地や公共施設、家屋等に甚大な被害を及ぼし、場合によっては人命を脅かす危険性があります。

【課題】

- 平成 30 年 7 月豪雨により、多くのため池が決壊し、道路・線路、周辺の家屋に被害が生じました。内陸部には老朽化ため池が多数存在していることから、同様の災害が発生する危険性が高まっています。
また、管理する農業者の高齢化や、耕作放棄による受益者の減少により、ため池の十分な管理が困難であり、老朽ため池の長寿命化対策や防災減災対策が喫緊の課題となっていますが、地域等からのため池整備の要望は年々増加しており、厳しい地方財政事情では計画的な対応が困難となっています。

提案の内容

老朽化したため池の長寿命化対策や耐震性の低いため池などに対する補強や廃止等、防災減災対策を早急かつ計画的に実施できるよう、事業費等の採択要件の緩和及び地方負担軽減のため財政措置の拡充を要望するとともに、技術的な支援も含めた支援をお願い申し上げます。

5 農林業者への財政支援について

提案の主旨

- 農林業者への財政支援について (農林水産省・財務省)

現状及び課題

【現状】

- 平成 30 年 7 月豪雨による浸水や土砂流入によって、農地や農業施設、林業施設に甚大な被害が生じています。

【課題】

- 農林業に欠かせない農地や施設が被災し、農林業者の事業経営に支障が出ており、生産意欲の減退や離農等の危機に直面しています。

提案の内容

個人農林業者の事業経営再開のため、パイプハウスなどの生産施設や機械設備の復旧等に必要な支援をお願い申し上げます。

被災者の負担を軽減するため、被災者向け経営体育成支援事業を適用するとともに、補助率の嵩上げや農機具等の修繕といった補助対象の拡充について、特段のご配慮をお願い申し上げます。

6 JR芸備線・JR福塩線の早期復旧について

提案の主旨

- JR芸備線・JR福塩線の早期復旧について

(国土交通省・財務省)

現状及び課題

【現状】

平成30年7月豪雨により、甚大な被害が発生しているJR芸備線・JR福塩線は、復旧に相当の期間を要するため、一部区間を除いて長期にわたる運休が見込まれています。

【課題】

鉄道路線は、通勤・通学のほか医療機関への通院といった沿線住民の生活に欠かせない交通手段であり、企業の生産活動等に不可欠であることから、早期復旧が求められます。

提案の内容

JR西日本から復旧計画が示されていますが、鉄道路線は定時性に優れ、大量輸送が可能であることから、通勤・通学等の生活交通としての利用者のほか、観光客等への影響も大きいため、一刻も早い復旧を図るために鉄道事業者に対する特段の配慮を講じていただくとともに、地方自治体の負担に対する財政措置等のあらゆる支援を、お願い申し上げます。

また、鉄道路線の復旧までの期間において、運行可能となった区間については、早期に一部運行を再開していただくよう関係機関への働きかけをお願い申し上げます。